

# Weekly Report

2018-19年度  
名古屋瑞穂ロータリー  
クラブ会長のテーマ  
「継続と変化」



インスピレーションになる

創立：1980年(昭和55年)1月10日  
会長：平野 好道  
幹事：湯澤 信雄  
クラブ広報委員長：長谷川 隆  
例会日：毎週木曜日 PM12:30～  
会場：ビルドン名古屋

事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F  
TEL：052-211-3803  
FAX：052-211-2623  
MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2018-19年度  
国際ロータリーのテーマ  
インスピレーションになる  
(BE THE INSPIRATION)

## 第1879回例会

～ロータリー親睦活動月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2019年6月6日(木) 晴れ 第41回

司会：松田浩孝会場委員  
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」  
ビジター：名古屋中RC 吉田敬岳さん  
東京麹町RC 乳井真一さん  
名古屋RC 平松潤一郎さん  
ゲスト：米山奨学生 ゲン・ティ・カリンさん

### 会長挨拶

平野好道会長

昨日は熱田神宮の例祭に出席してきました。瑞穂RCの会長宛てに招待状が来ており、勅使がいらっしゃるとのことなので、行くことにしたものです。久しぶりに小串さんの顔もお見掛けしました。



例祭のあとに、「直会」(なおりい)がありました。この字を「なおりい」と読むことを初めて知りました。ということで、お弁当を出していただいて、食べてきました。最初の挨拶の最中にしゃべり続けるおじさん二人がいたので、近づいて行って、挨拶の間しゃべるのは失礼でしょ、と言って止めさせました。瑞穂RCでも卓話中に話をされる方がたまにおられて、お静かに、という札を用意するのですが、このような札がなくてもよくなるのが一番ですね。

ところで、先週不倫をする遺伝子があるのかというお話をし、次回予告で浮気をした場合の法律問題についてお話をすると聞いたので、少しお話をします。ちなみに、会長挨拶で法律の話をするのは、これが最初で最後になります。

少し前に最高裁判決で、離婚による慰謝料を請求できない場合があるという判決内容の報道があり、これを不貞行為をしても慰謝料は払わなくてもいい、と誤解しそうな報道でした。今回は時間がないので、その内容についてはお話しません。

例えば、私が浮気をした場合には、奥さんは私に慰謝料請求をできますし、私の浮気相手に対しても慰謝料請求をすることができます。この場合、浮気相手が慰謝料請求を争う方法としてよく使われるのは、

- ① 結婚しているとは知らなかった。自分も騙された。
- ② 請求している人の夫婦関係は不貞行為があった時にはすでに壊れていて、守られるべきものがない。

というようなことです。

ところで、愛知県弁護士会で講師を招いて研修を行っており、その内容が研修センターだよりとして配布されます。

その中で、不貞行為による慰謝料(自分の配偶者の不貞相手への)請求(例えば、自分の夫が浮気をした場合の夫の浮気相手の女性への慰謝料請求)について、裁判実務では不貞行為は民事上違法とされているが(つまり請求できる)、学説上は否定説(つまり請求できない)がかなり有力ですとあってびっくりしたので

、その内容を説明します。

その根拠がいくつかあげてありますので、そのいくつかをピックアップしますが、この主張はあっぱれと言うべきか。

- ① 私の夫を奪ったという主張は、配偶者を自己の所有物と見るに等しく、不合理である。
- ② 慰謝料を認めても、事後的制裁にすぎず、不貞行為の発生予防にはならない。
- ③ 不貞行為によって、深く傷ついたとしても、それは金銭から最も遠いところで傷ついているはずであるから、金銭による償いは不可能であり、不相当である。
- ④ 任意の肉体関係は男女の自由競争の結果に過ぎず、これを違法と評価すべきでない。

海外ではどうかというと、イギリスでは、浮気相手に対する慰謝料請求は廃止されています。欧米諸国では一般的に、失った愛についての対価を支払いは認めないことが多い傾向です、という記載がネットであり、知っている日本の弁護士もそのように記載しているのを見たことがあります。

いずれにしろ、現在の判例では不貞行為によって慰謝料を支払わなければならないのが原則ですので、十分お気を付けください。

### 出席報告

星野一郎出席委員

会員66名 出席44名 (出席計算人数50名)

出席率 79.3% 5月30日は補填により89.7%

### ニコボックス

星野一郎ニコボックス委員

- ・ 6月26日、誕生日です。75才になります。よろしく。  
長坂 邦雄さん
- ・ 6月4日は17回目の結婚記念日でした。妻に感謝です。  
鶴田 浩さん
- ・ 6月5日は家内の誕生日です。きれいなお花ありがとうございました。  
入江 理さん
- ・ 湯澤勇生さんにお世話になりました。今川さんインスピレーションスピーチ楽しみにしています。  
亀井 直人さん
- ・ 今川さん、インスピレーションスピーチ楽しみにしています。  
湯澤 信雄さん 鈴木 淑久さん 北岡 寿人さん

### 6月誕生日おめでとう

萩原 孝則さん 鈴木 健司さん 松波 恒彦さん  
湯澤 勇生さん 花井芳太郎さん 長坂 邦雄さん

### バナー交換

東京麹町RCの乳井真一さんとバナーの交換を致しました。



## 幹事報告

- ・次週6月13日(木) 12:30より、第5回CFをヒルトン名古屋4階「竹園の間」で行います。
- ・次々週6月20日(木) 18:00より、下期納会をか茂免で行います。

## 卓話

今川知也さん

### テーマ:「新入会員イニシエーションスピーチ」

皆様こんにちは。まずはじめに私を会員として受け入れていただいた事を心より感謝いたします。そして推薦していただいた泉さん、鈴木淑久さん、まことにありがとうございました。

はじめに簡単ですが自己紹介をいたします。昭和47年8月15日生まれの46歳、血液型はA型です。仕事は日本電炉工業という工業用の電気炉メーカーを営んでおります。生まれは岐阜の中津川、付知峡の近くです。趣味は皆様ご存知かと思いますがゴルフです。三好カントリー所属でHCは0です。ゴルフ歴は10年ほどです。あとあまり強くはありませんがお酒が大好きです。ほぼ365日ちびちびと飲んでおります。特技は意外だと言われますが料理で、家でたまにキッチンに立ちます。最近は弊社のお客様であります愛知ドビーさんが作っている「パーミキュラ」という調理用の鍋を使って料理する事にはまっています。パーミキュラについては後ほど詳しくご紹介いたします。次に家族構成ですが、妻と娘3人の5人家族です。

私が生まれた付知町ですが、人口が7000人ほどの小さな町でした。祖父の時代から小売業をやっておりました。両親とも朝早くから夜遅くまで仕事をしておりましたので、幼少期は親に面倒を見てもらった記憶がほとんどありません。野球が大好きで、小中と野球部に入っていました。陸上の試合の前になると、陸上部の練習にも参加させられていました。中学の頃は野球でピッチャーをしており、すでに肩に痛みがあったため、高校はどうかと思った末、陸上部に入って活動をしました。父親が多趣味であったため、野球の他にスキーやゴルフなどをやらされました。今思えば色々な経験をさせてくれた事に感謝しています。

高校卒業後は関東の大学に進学し、大学時代は野球もしていましたが車の改造にもはまっていました。卒業後は松下電器産業(現:パナソニック)に入社しました。横浜の事業所に配属され、車用のAVシステムのソフトウェアの設計をやっていました。ちょうどラジオやCDなどの時代から、ナビゲーションシステムが付き、テレビやDVDを車の中でも楽しむという変化の時代でした。最新の技術に関わる仕事が出来楽しかったです。入社してもなく、ソフトウェアの設計者はちょっと尖っていた方が雰囲気かと思う、金髪にしました。大きい会社でしたが、金髪の方はまったくおらず、そしてどうしたわけか当時の取締役の方に可愛がっていただきました。そういうわけで、先輩方を差し置き、26、7歳の時に異例の若さで係長に推薦されました。その後その役員さんは退任され、同じ時期にデンソーからいいお話を頂き、29歳の時に刈谷のデンソーに転職しました。デンソーでは車用のナビゲーションシステムのソフト屋の設計をしていました。刈谷という土地には初めて来たので、友達もおらず、この時にゴルフを再開しました。30歳の頃に妻と出会って結婚をし、仕事は忙しかったですが、今思うと平和なサラリーマン生活だったなと思います。

35歳ぐらいの時に転職が訪れました。親戚が経営していた会社の社長が病死しまして、跡継ぎが決まっておらず、私に白羽の矢が立ちました。今まで自由にやらせてもらったので、親の言う事も聞かないかと思いき、今の日本電炉工業に入社しました。まったく畑違いの技術で、とにかく最初は勉強する事が多くて毎日現場に出ていました。作っているものは工業用の電気炉です。全てオーダーで作っています。特に高温の還元炉を得意としております。仕事が少しずつ分かるようになってきた2008年時、リーマンショックがあり、仕事がほとんどゼロになってしまいました。私が入社した頃から、亡くなった前社長の奥様が非常に可愛がってくれ、その方からの指示で会社は厳しい状況だが、従業員の給料

は下げない、ボーナスも出すようにと指示がありました。従業員の生活を守るのがあなたの役目だから、限界まで耐えなさい、といわれました。ですが今思うとこの時に経営者としての覚悟が出来たかなと思っています。皮肉な事に仕事が全くありませんが時間はありましたので、ゴルフの回数が増えまして、この時ゴルフがかなり上達しました。当時所属していた東名古屋カントリークラブでクラブチャンピオンも2回獲らせていただきました。売上はほぼゼロでしたが給料は普通に出し続けていたら、すごい勢いで預金がなくなっていきました、どうしようかと思っていた矢先、急に景気が回復しましてギリギリ助かりました。リーマンショックの前までは数社のお得意様の仕事しか受けないようになっておりましたが、リーマンショックという強烈な不景気を経験し、考え方が変わりました。今までお断りしていた新規のお客様の仕事を受けるようにしました。基本的には営業部は今までどおり既存のお客様だけをサポートするようにして、私が新規開拓の営業担当として動くようにしました。

炉というと、大体の人が鉄を溶かす、陶器を焼くのかと聞かれますが、お客様で多いのが半導体や自動車関係の会社で、様々なところでお使いいただいています。自動車はエンジン部品は金属が使われている部分はもちろん、排気ガスのセンサーにも使われています。半導体ウェハは製造工程でエッチング装置という設備を使用しますが、そのエッチング装置に使用するセラミック製の静電チャックという部品がありまして、この製品の世界の半分以上がうちの炉を使っていると思います。また最近話題の調理用鍋パーミキュラも弊社の炉を使って製造いただいています。パーミキュラは名古屋の愛知ドビーさんの商品ですが、もともと愛知ドビーの社長とはゴルフ友達で仕事の接点はありませんでした。ある日社長から電話がかかってくるので、そこから仕事の付き合いが始まりました。このパーミキュラは優れたもので、誰が料理してもおいしく出来ます。皆様にぜひ購入いただき、料理にチャレンジしていただきたいなと思います。

リーマンショック後、必死に営業を続けておりましたところ、海外にも販路が拡大し、アメリカやメキシコなど各国で製品が活躍しています。海外に拠点はありますが、今の時代に合ったグローバルな対応が出来るように心がけております。

最後に、これは私の趣味でやっている事ですが、名古屋大学と共同で研究しております。高温の還元炉を得意としていますが還元炉は炉内で還元ガスがどのようにながれていくかで製品の焼け方が左右されてしまいます。ただ、1500度の高温の中でガスがどのようにながれていくか測定する事は不可能ですので、ソフトウェアでシミュレーションできないかと思いましたが、スーパーコンピュータは、私が通っていた明治大学にはありましたが、近くでないかとおもっていたところ、名古屋大学の研究室に流体の研究をしているところがあり、教授に相談したところ、快く共同研究を受け入れていただきました。たまに大学に行くとクリエイティブな昔の気持ちが沸き上がってくるのと、うちのような小さな会社でも、名古屋大学と研究をやっているの?といわれる事があり、快感でもありますので続けております。

これからも炉という枯れた技術の業界に最新のソフトウェア技術を取り入れて、一步先の技術を目指して頑張りたいなと思っております。



## 例会のご案内

- 今週の行事 6月13日(木) クラブフォーラム  
(次年度行事予定と委員会報告)
- 次週の行事 6月20日(木) 下期納会  
場 所:か茂免  
時 間:18:00~20:00
- 次々週 6月27日(木) R規定により休会